



新たに3名がPR大使に

オリックスバファローズの金田和之投手、広島東洋カープの中崎翔太投手、元西武ライオンズで現在、栃木エイジェックでコーチを務める中崎雄太さんの3名が新たに市PR大使となりました。財部町出身の3名は同じ少年野球チームで汗を流していました。

就任式では市長が委嘱状とお星人のぬいぐるみを手渡し、「生まれ育った曾於市をPRしていきたいです」とそれぞれ意気込みを述べました。

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

県トラック協会が定規を寄贈

3月11日、公益社団法人鹿児島県トラック協会が交通標識入り定規を市へ寄贈しました。

寄贈された定規は市内全小学校の新入学児に配布され、交通安全への意識を高めてもらう目的で基本的な交通標識が描かれています。協会員は「この定規を学校や家庭の学習で活用してもらい交通ルールを学んでもらいたい」と話しました。同協会はこの活動を約30年前から毎年続けています。



瀬下教育長へ定規を寄贈するトラック協会の皆さん

県青年農業者会議で最優秀賞

3月7日、鹿児島県農業青年農業者会議のプロジェクト発表の部で最優秀賞を受賞した豊田貴幸さん（財部町）が市長へ報告に来られました。

豊田さんは、2月13日～14日に行われた県青年農業者会議（日置市）で「我が家の年間栽培歴見直し～赤芽大吉さといもの早期出荷検討」と題して発表し、最優秀賞を受賞されました。7月に開催される九州大会での活躍が期待されます。



賞状を手にする豊田さん

農林業の後継者に結婚祝金を贈呈

3月15日、市役所本庁で農林業後継者結婚祝金贈呈式が行われました。この制度は、農業後継者または新規就農者として夫婦になられた方で、農林業を専業とする方に対し1組5万円を贈呈するものです。

当日は3組のご夫婦に市長から祝金を手渡されました。該当する方は農林振興課または各支所産業振興課へお問い合わせください。



問合せ先 農林振興課 ☎ 0986-76-8808

農業発展のために新しい力を

3月15日、市役所本庁で新規就農者支援対策事業認定書交付式が行われました。この制度は、曾於市の農業を担う新規就農者を確保・支援するため、認定後2年間にわたって毎月5万円から15万円の補助金を支給するものです。

今回の認定者は8名。「曾於市の農業に貢献できるような経営にしていきたい。目標に向かって頑張ります」と抱負を述べました。



認定を受けた新規就農者の皆さん

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

商店街活性化に向けて提言書を提出

3月26日、曾於市商店街活性化検討委員会の役員が市役所を訪れ、提言書を提出しました。この委員会は、今後の商店街活性化に関する方針を策定することを目的に設置されたものです。

検討委員会の役員は「曾於市の未来像を話し合う中で改めてわが故郷の良さを知るきっかけになった。今後も若い方と話合う機会を持っていきたい」と話しました。



提言書を提出した委員の津曲さん（左）と湯田さん（右）

家族で協力し経営向上を目指す

3月19日、市役所本庁で家族経営協定調印式が行われました。この協定は、農業経営について経営の方針や個々の役割、就業条件や就業環境について家族で取り決めたものを文書化したものです。

今年度は宮田家、下岡家、上野家、立元家、本村家、徳留家の6組です。今後この協定が経営発展の一助となることを期待します。



調印式に出席した6組のご家族

財部分署が移転改築

4月1日、大隅曾於地区消防組合財部分署の開所式が行われました。旧庁舎は昭和54年に建設され、老朽化に伴い鹿児島銀行財部支店付近に移転改築されました。総事業費約9千万円、延べ床面積235.49㎡で9名の職員が交代で勤務しています。

川野消防組合消防長は「職員一丸となり皆さんの生命と財産を守っていきます」と話しました。



(左から) 原田市議会議員、五位塚市長、川野消防長

梶井兄弟が全国大会で快挙！

3月29日、『第9回カラテ界のあしたのジョーをさがせ！』で好成績を残した梶井^{りゅうく}琉空さん（末吉小6年）と琉天さん（同小2年）の兄弟が市長へ報告に来られました。本大会は東京都で開催され、全国から約600人が参加。弟の琉天さんが3位、兄の琉空さんが準優勝という快挙を成し遂げました。2人は「もっと強くなって上を目指したいです」と話しました。※取材当時の学年で表記しています。



兄の琉空さん（左）、弟の琉天さん（右）

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい



弥五郎の里桜まつりが開催

3月31日、おおすみ弥五郎伝説の里で弥五郎の里桜まつりのステージイベントが行われました。当日は天候にも恵まれ、桜の花もほば満開で、最高のお花見日和での開催となりました。ステージでは地元の子どもたちによる演奏やダンスなどが披露。歌手の西田あいさん（始良市出身）による歌のステージもありました。実行委員長の津曲芳夫さんは「今回も皆さんのご協力で盛大に開催することができました」とお礼を述べました。

曾於市レディーの井福さんが退任

4月10日、曾於市観光協会の総会が行われ、そお市レディーの井福萌子さんが退任されました。井福さんは「レディーとして市の特産品や観光地をPRしてきた。今後も市の魅力を発信していきたい」と話しました。また、市観光協会会長の大津亮二さんは「平成最後の節目に当協会是一般社団法人として生まれ変わった。更に曾於市の魅力をPRしていきたい」と話しました。



(左から) 崎浜さん、井福さん、切通さん

農業公社が運営を開始

4月1日、市農業公社の運営開始式が行われました。今後は農家の負担軽減や担い手育成を図り、地域農業の発展を目指していきます。

作業料金表 (10 アール分)

水稲作業	水田荒起	4,000 円 (税抜)
	水田中耕起	3,000 円 (税抜)
	代かき	6,000 円 (税抜)
	田植え	6,500 円 (税抜)
	稲刈りコンバイン	15,000 円 (税抜)
一般作業	ロータリー耕	4,000 円 (税抜)
	深耕ロータリー	11,000 円 (税抜)
	プラウ耕	4,500 円 (税抜)

※詳しくは農業公社まで。

大隅 ☎ 099-482-3765 財部 ☎ 0986-72-0829



運営開始式でテープカットを行う関係者の皆さん

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい



溝ノ口洞穴で奴踊りが奉納

4月7日、県の天然記念物である財部の溝ノ口洞穴で、岩穴祭りがありました。今年は、中谷小学校児童による『奴踊り』と地元のおどり保存会により今年は『刀踊り』が奉納されました。

奴踊りには、中谷小児童の他、今年3月に卒業した中学生や4月に入学した新1年生も含め11人が参加。3月から1時間半程の練習を週に1〜2回行ってきました。

今年が最後の奴踊りだったという財部中1年の小園怜奈さんは「最後のので完璧な踊りをしたかったのですが間違えてしまい悔しかったんです。だけど楽しく踊れました」と笑顔で話しました。

刀踊りでは、踊り手が新しく6人加わり、12人で軽やかな踊りを披露し見物客を楽しませていました。

岩穴祭りは、毎年お釈迦様の誕生日(4月8日)に近い日曜日に開かれており、奴踊りは市の無形民俗文化財に指定されています。